

横浜市地域有形民俗文化財 南谷戸のおおわらじ 道祖神ご祭礼



2014年4月27日(日)午前
主催:南谷戸和楽路会

横浜市地域有形民俗文化財
南谷戸のおおわらじ
道祖神ご祭礼



三年に一度の
南谷戸おおわらじ
の奉納がおこな
われました

2014年4月27日(日)午前
主催:南谷戸和楽路会



「南谷戸おおわらじ」は、大正初期に土地の青年達が農業に従事する傍ら、副業にわら加工を推励したのがきっかけとなり、南谷戸の象徴としておおわらじを制作し、松の木に吊したのが初めだと言います。

家内安全、五穀豊穰を願って作られたおおわらじも戦時中は武運長久、戦後は交通安全を祈願するなど時代を反映しながら伝えられ、市内でも大変珍しい行事の1つです。なお、現在のおおわらじは、南谷戸和楽路会の手により、3年毎に作り替えられ、大切に保管されています。
(わらじ前の看板引用)



わらじの重量は、左右一足分で400Kg
あります

近年、入手しにくくなった わらは、吉田
町の農家から分けていただき、軽トラッ
ク山盛り2台で運ばれます

南谷戸和楽路会が継承者を育て、3年
に一度の大わらじの作り変えは、数週
間に渡り行われて、奉納されます





戸塚区長をはじめ議員や豊田小学校の新旧校長など教育関係者や観光協会などがお祝いに駆けつけ、地域の参加者など含めると120人ほどの方が集いました。



奉納当日は良い天気に恵まれ、重量からロープが切れるアクシデントがありましたが、無事に奉納されたときには参加者から拍手が起こりました



4月28日(月)の読売新聞(27面)に取り上げられました